研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 6 年 6 月 1 0 日現在

機関番号: 16301

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2019~2023 課題番号: 19K01113

研究課題名(和文)浜堤の考古学-瀬戸内海島嶼部における海岸利用史の研究-

研究課題名(英文)Beach Ridge Formation and Coastal Archaeology

研究代表者

槙林 啓介 (Makibayashi, Keisuke)

愛媛大学・アジア古代産業考古学研究センター・准教授

研究者番号:50403621

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3.400.000円

研究成果の概要(和文):瀬戸内海島嶼部における浜堤や砂丘の実態および遺跡との関係と、東アジア的視野における海岸利用の変遷の解明を目的とした。粒度分析や薄片観察により砂丘堆積と風成堆積の判別方法を提示しながら、瀬戸内海島嶼部における浜堤と遺跡形成の特徴について解明した。また、微小貝調査と分析により、微小貝から想定できる製塩活動は限定的であった可能性を指摘した。東アジア的視点から、砂丘や浜堤と製塩活動の関係を検討すると、東南中国沿岸部では海水利用が基本であり、とくに東南中国沿岸部の塩業遺跡はおおむね浜堤に立地しており、地形環境史の観点から、日本の沿岸部や島嶼部と共通性・類似性があることが分かってき た。

研究成果の学術的意義や社会的意義 日本列島の海岸遺跡の立地と遺跡形成に関わる研究において、砂丘形成と環境変動の関係だけでなく、浜堤形成の分析も重要であることを指摘した。主な対象を瀬戸内海島嶼部としたが、浜堤は日本においては相模湾・三河湾や和歌山湾の沿岸や島嶼部に、東アジアでは東南中国沿岸部にも多く存在しており、今後は浜堤形成のメカニズムの解明とともに遺跡研究を行っていくことが有効になる。また、こうした研究の視点や方法が加わり海岸遺跡の調査が進むことで、日本における海岸利用史の解明が進むだけでなく、東アジア的視野では広く共通性が見られることから、こうした歴史性も共有できるようになることは、本研究の社会的意義のひとつである。

研究成果の概要(英文): The purpose of this study is to elucidate the actual conditions of beach-ridge and dunes in the islands of the Seto Inland Sea and the transition of coastal use in an East Asian perspective. The characteristics of beach-ridge formation on islands in the Seto Inland Sea and the differences and features between coastal areas and islands in the Seto Inland Sea were examined. In addition, through the survey and analysis of micro shells, we pointed out the possibility that the salt-making activities that can be assumed from the micro shells were limited. From an East Asian perspective, an examination of the relationship between dunes and beach-ridge and salt making activities reveals that the use of seawater is fundamental in the coastal areas of Southeast China, and in particular, salt making sites in the coastal areas of Southeast China are generally located on beach-ridge, and the topographical environment has similarities and similarities with the coastal areas and islands of Japan.

研究分野:考古学

キーワード: 考古学 地形環境 浜堤 砂丘 瀬戸内海 製塩 東アジア

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

本科研の前提となった基盤研究(C)「クロスナ層の多角的分析と3次元地質モデリングによる瀬戸内島嶼部の海岸利用史の解明(16K03158)」では、本研究でも対象遺跡のひとつとしていた愛媛県宮ノ浦遺跡の立地は砂丘ではなく浜堤であることを明らかにした。その際、宮ノ浦遺跡では縄文時代後期、弥生時代中期、古墳時代前期のクロスナ層が存在しており、これらクロスナ層の形成要因や気候変動との関係も課題となっていた。しかし、浜堤の形成と浜堤上におけるクロスナ層の形成は、これまで気候変動の関係で研究されたことがなく、宮ノ浦遺跡の古環境と人間活動の関係を従来の理論で解釈するわけにはいかなくなった。そこで、まずは浜堤の形成について、自然科学分析のデータを積み重ねながら、明らかにしていく必要がでてきたのである。さらに、浜堤と気候変動の関係が明らかになることで、従来の沿岸遺跡の立地のあり方にも再検討が必要になる。本研究は、実地で繰り返し調査・検討してきたなかで、新たに出現したこのような問題を研究課題にしたものである。

また、海岸地形の変化が、従来の気候変動に基づいた砂丘形成のメカニズムだけでなく、浜堤 形成のメカニズムも重要な視点になったことで、東アジア全域における海岸遺跡の立地や性格 についても再検討をする必要が出てきた。とくに中国沿岸部においては、日本同様に製塩遺跡が 多く存在していながら、環境との関わりについては同様の課題を共有できる状況にあった。

2.研究の目的

本研究は、海岸地形環境に着目して、瀬戸内海地域における島嶼部の海岸利用史とその特徴を明らかにするものである。瀬戸内海沿岸では、海岸地形環境のうち、とくに浜堤と砂丘が製塩などの適地として利用されてきたが、いつ、どのような地形状態だったのかはまだ不明なことが多い。また、そもそも島嶼部における浜堤の形成がいかなるものかもわかっていない。このため、まず浜堤と砂丘の形成の実態を、遺跡の考古学的調査とともに明らかにする。そして、製塩遺跡などが立地する地形環境とその利用を比較することで、瀬戸内海地域の沿岸部と島嶼部の相違や特徴を考察する。地形環境史的視点から見た瀬戸内海島嶼部の歴史的特性について、他地域との比較を行いながら、東アジア的視野で探求する研究の一環である。

3.研究の方法

研究目的の 瀬戸内海島嶼部における浜堤形成の特性と、目的 瀬戸内沿岸部と島嶼部の相違と特徴を探求するために、以下のような方法を採った。

上島町教育委員会と愛媛大学が実施している宮ノ浦遺跡、および上島町教育委員会が実施している島尻遺跡の発掘調査と連動しながら、調査分析を行った。各遺跡のトレンチ内の浜堤断面における堆積状況の観察とサンプル採取を行い、断面やコアから適した土壌サンプルを採取する。その後、各種理化学的分析を行った。分析には、土壌成分分析・粒度分析により浜堤の砂粒子構成等と薄片観察分析では浜堤の砂粒子構造の検討を行い、微小貝類遺体分析からは古環境復元、とくに堆積要因の解明を行った。

本研究では特に薄片観察分析を取り入れることによって、浜堤と砂丘との区別することにつとめた。従来の堆積物の分析方法では、構成物質(砂粒子)の割合、粒度、色調、淘汰度が主な分析であった。しかし、浜堤か砂丘かは生成要因が異なることから、粒度と淘汰度に違いが出ることを利用して、淘汰度が高い砂丘の砂粒子構成と違い、浜堤の場合、様々な粒度の砂粒子で構成されており、もし風砂による砂粒子が含まれても構成比として表れるだけである。しかし、それでは、浜堤に砂丘形成が含まれていても区別できない。こうした問題を解決するために、本研究では、とくに薄片観察分析法を導入した。堆積層のブロックサンプルから薄片を作成し、その堆積構造を観察することで、暴浪等による浜堤堆積か、風砂による砂丘堆積かを判別することを試みた。

また、浜堤形成と気候変動の関係を調べることで、浜堤と砂丘の関係を検討した。そのために、 上記の薄片観察分析に加えて、微小貝類遺体分析を試みた。形成要因が異なるため、海側から供 給される構成物のうち、含有(微小)貝類のあり方も異なる。貝類は浜堤堆積物か風成堆積物か 堆積要因の解明に寄与し、これにより古地形環境の復元につなげることができる。

さらに目的 について、周辺遺跡の踏査および既発掘調査資料の検討を行った。海岸環境の変化によって生業とくに製塩に関わる遺跡立地との関係を調べることで、浜堤か砂丘かの立地と、製塩に関わる比較研究を進めた。瀬戸内沿岸部を対象の中心に据えながら、東アジアとくに中国沿岸部の地形環境と製塩遺跡の立地と性格も分析の対象にした。

4. 研究成果

浜堤と砂丘との判別については、土壌成分分析・粒度分析、薄片観察分析、なかでも薄片観察 分析が有効な分析方法であることが分かった。これにより、従来、砂丘と考えられていた海岸地 形には、浜堤が多く存在することが分かった。また同一地点においても、砂丘と浜堤が形成され ており、地層ごとにその形成要因を検討することで地形環境を復元することができるようにな る。風成による砂丘と波浪による浜堤とでは粒度は明確に異なることで基本的には判別できる。その点、瀬戸内海の製塩遺跡などの海岸遺跡の多くは浜堤環境であることが分かってきた。ただし、宮ノ浦遺跡では浜堤層と思われていた下層が基盤層の風化層であることが分かった。本研究が対象にしていた風成堆積と浜堤堆積の比較だけでなく、基盤の風化層との比較も必要であることが分かったことは成果であった。また、微小貝類遺体分析はその存否とともに同定により、環境復元と製塩方法なども復元できる。ただ、本研究対象の遺跡においては、微小貝類遺体は検出されなかったこともあり詳細な分析までは至らなかった。縄文時代の貝塚も含めて、関東、九州など各地域での精力的な調査にもかからず、製塩に関わる微小貝はあまり抽出できなかったことは、微小貝から想定できる製塩行為自体は実のところあまり行われていなかったと推測できる。

東アジアとくに中国の東中国海沿岸部における浜堤(地形環境)と塩業遺跡に関する研究を行った。東中国海沿岸部では海岸地域でありながらも、地域によって原料に相違が見られる。山東半島や渤海沿岸では内陸部から地下水脈から流入する塩水(鹹水)を主に原料としている。いっぽう、東南中国沿岸部では海水利用が基本である。また東南中国沿岸部の塩業遺跡はおおむね浜堤に立地しており、地形環境に共通性があることが分かってきた。浜堤利用は浜堤の形成時期と関係があり、各地域・遺跡でのより精度の高い形成時期の分析が課題である。さらに東南中国沿岸部では貝灰などを含ませた粘土で塗り固めた「貝殻釜」と呼ばれる塩釜があり、華北などでは見られない地域性を示している。日本・九州沿岸部には竹などの木材を構造材として漆喰等で塗り固めて築く「あじろ釜」と呼ばれる塩釜があり、東南中国沿岸部の「貝殻釜」と製作方法等が類似する。「あじろ釜」は当該地域からの伝播により成立した可能性があることを指摘した。中国全土を見返したときに製塩の原料や技術は一様・一系統ではなく多種多様であることが言える。また、東南中国沿岸部の製塩遺跡の立地環境も日本の瀬戸内海等のそれとも類似していることからすると、伝播に関わるより比較の視点をもった研究が望まれる。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計16件(うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 1件)

1.著者名 模林啓介	4 . 巻 38
2 . 論文標題 中国沿岸地域における塩業考古の現状と課題	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 日本列島の人類史と製塩(季刊考古学別冊)	6 . 最初と最後の頁 134-139
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Keisuke Makibayashi	4.巻 4
2.論文標題 Elucidation of the history of coastal utilization of the Setouchi islands, Japan by multifaceted analysis and three-dimensional geological modelling	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Impact	6 . 最初と最後の頁 46-47
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.21820/23987073.2021.4.46	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 黒住耐二	4 . 巻 ·
2. 論文標題 微小貝類からみた沖縄の貝塚	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 海とジュゴンと貝塚人(令和3年度沖縄県立博物館企画展)	6 . 最初と最後の頁 67-68
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
. ***	4 34
1.著者名 模林啓介	4 . 巻 ·
2.論文標題 中国沿岸地域における塩業考古の現状と課題	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 別冊季刊考古学	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4.巻
植林啓介	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
しまなみ(上島町)の製塩と遺跡	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
大学的愛媛ガイド	14-16
八子的复数刀工工	14-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
黒住耐二	-
2 . 論文標題	5.発行年
取掛西貝塚(5)で得られた貝類遺体	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
取掛西貝塚(5)	247-273
	o
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
₹ 0	***
 オープンアクセス	国際共著
	国际 <u>大有</u>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ***	4 44
1 . 著者名	4 . 巻
黒住耐二	-
- AA	_ 70/
2 . 論文標題	5.発行年
2 . 論文標題 取掛西貝塚出土の貝類	5.発行年 2021年
取掛西貝塚出土の貝類	2021年
取掛西貝塚出土の貝類 	
取掛西貝塚出土の貝類	2021年
取掛西貝塚出土の貝類 	2021年 6 . 最初と最後の頁
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚-	2021年 6 . 最初と最後の頁 485-502
取掛西貝塚出土の貝類 	2021年 6 . 最初と最後の頁
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚-	2021年 6 . 最初と最後の頁 485-502
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無
 取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書・東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無
 取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書・東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著
取掛西貝塚出土の貝類3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚-掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 黒住耐二	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 -
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書・東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 黒住耐二 2.論文標題	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
取掛西貝塚出土の貝類3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚-掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 黒住耐二	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 -
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 黒住耐二 2.論文標題 市原条里遺跡で検出された貝層の貝類遺体とその堆積環境について	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 黒住耐二 2.論文標題 市原条里遺跡で検出された貝層の貝類遺体とその堆積環境について 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 - 査読の有無 - 無 - 国際共著 - 4.巻
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 黒住耐二 2.論文標題 市原条里遺跡で検出された貝層の貝類遺体とその堆積環境について	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 黒住耐二 2.論文標題 市原条里遺跡で検出された貝層の貝類遺体とその堆積環境について 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 - 査読の有無 - 無 - 国際共著 - 4.巻
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書・東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 黒住耐二 2.論文標題 市原条里遺跡で検出された貝層の貝類遺体とその堆積環境について 3.雑誌名 市原条里遺跡	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 208-222
取掛西貝塚出土の貝類 3 . 雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 黒住耐二 2 . 論文標題 市原条里遺跡で検出された貝層の貝類遺体とその堆積環境について 3 . 雑誌名 市原条里遺跡	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 208-222 査読の有無
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書・東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 黒住耐二 2.論文標題 市原条里遺跡で検出された貝層の貝類遺体とその堆積環境について 3.雑誌名 市原条里遺跡	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 208-222
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 黒住耐二 2.論文標題 市原条里遺跡で検出された貝層の貝類遺体とその堆積環境について 3.雑誌名 市原条里遺跡	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 208-222 査読の有無 無
取掛西貝塚出土の貝類 3.雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 黒住耐二 2.論文標題 市原条里遺跡で検出された貝層の貝類遺体とその堆積環境について 3.雑誌名 市原条里遺跡 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 208-222 査読の有無
取掛西貝塚出土の貝類 3 . 雑誌名 取掛西貝塚総括報告書-東京湾東岸部最古の貝塚- 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 485-502 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 208-222 査読の有無 無

1.著者名	4.巻
黒住耐二	-
2.論文標題	5.発行年
- 1 開入 (京) と 	2021年
幸ラングがは、フログラー「マリンンへへんな」に	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
轟貝塚(熊本県宇土市教育委員会調査報告書)	290-305
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
立川浩之・黒住耐二	11
立川/月之 無住側 —	
2. 論文標題	5.発行年
千葉県館山湾からドレッジにより採集された興味ある貝類	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
千葉県立中央博物館研究報告特別号	55-71
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
黒住耐二	-
···· ·	
2 . 論文標題	5.発行年
黒潮とオオツタノハ	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
海峡をつなぐ資源と道具	27-32
	21-32
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六有 -
1.著者名	4 . 巻
黒住耐二	93
2	F 整行生
2 . 論文標題	5.発行年 2019年
貝塚と日本人	20194
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
エプタ	17-21
担動会立のPOL / ごごクリナゴごこん L 強叫フト	本性の左位
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無無
なし	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	·

ス・	2. 論文標題 5. 飛行年 2019年 2019年 2019年 3. 雑誌名 (1. 著名名 展住所 2020年 2020年 2020年 2020年 3. 雑誌名 (1. 著名名 展住所 2020年 2		
2 : 論文標題 数小男孫を中心とした貝塚研究 3 : 耐芯名 数小男孫を介いとした貝塚研究 40・47 理数論文の001 (デジタルオブジェクト選別子) なし 1 : 著書名 黒住樹一 2 : 論文標題 平民思慮跡から得られた貝塚遺体 3 : 耐芯名 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5 : 発行年 2020年 3 : 耐芯名 第4 : 巻 5 : 発行年 2020年 3 : 耐芯名 5 : 那可と配後の頁 107-113 日本アクションアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 : 著書名 黒住樹一・同郷常樹 2 : 論文構題 歴史的大学博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城境大洗吹上遺跡出上の動物遺体 2 : 論文構題 歴史的大学博物館所成資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城境大洗吹上遺跡出土の動物遺体 2 : 漁芸者 歴史的大学博物館所成資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城境大洗吹上遺跡出土の動物遺体 7 : 3 : 高記名 歴史的大学博物館所成資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城境大洗吹上遺跡出土の動物遺体 1 : 著書名 歴史的大学博物館所成資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城境大洗吹上遺跡出土の動物遺体 2 : 漁芸者 2 : 漁業者	2 論文標題 2019年 3 . 練話名 6 . 最初と最後の責 40-47 票談の有無 40-47 票談の有無 40-47 票談の有無 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 3 . 練話名 (3 . 無談名 (4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 3 . 兼計 2 .	1.著者名	4 . 巻
2 : 論文標題 数小男孫を中心とした貝塚研究 3 : 耐芯名 数小男孫を介いとした貝塚研究 40・47 理数論文の001 (デジタルオブジェクト選別子) なし 1 : 著書名 黒住樹一 2 : 論文標題 平民思慮跡から得られた貝塚遺体 3 : 耐芯名 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5 : 発行年 2020年 3 : 耐芯名 第4 : 巻 5 : 発行年 2020年 3 : 耐芯名 5 : 那可と配後の頁 107-113 日本アクションアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 : 著書名 黒住樹一・同郷常樹 2 : 論文構題 歴史的大学博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城境大洗吹上遺跡出上の動物遺体 2 : 論文構題 歴史的大学博物館所成資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城境大洗吹上遺跡出土の動物遺体 2 : 漁芸者 歴史的大学博物館所成資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城境大洗吹上遺跡出土の動物遺体 7 : 3 : 高記名 歴史的大学博物館所成資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城境大洗吹上遺跡出土の動物遺体 1 : 著書名 歴史的大学博物館所成資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城境大洗吹上遺跡出土の動物遺体 2 : 漁芸者 2 : 漁業者	2 論文標題 2019年 3 . 練話名 6 . 最初と最後の責 40-47 票談の有無 40-47 票談の有無 40-47 票談の有無 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 3 . 練話名 (3 . 無談名 (4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 3 . 兼計 2 .	黒住耐二	-
数小男類を中心とした貝塚研究 3 . 純誌名	後小貝類を中心とした貝塚研究	···· - ···	
数小男類を中心とした貝塚研究 3 . 純誌名 日東議論文の501 (デジタルオブジェクト護例子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著名名 黒住附二 2 . 論文程題 平民思語がから得られた貝城遺体 3 . 純誌名 与郑原町文化財調査報告書 6 . 是初と風後の頁 107-113 お表記の501 (デジタルオブジェクト護例子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著名名 黒住附二 2 . 論文程題 インアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著名名 黒住附二	後小貝類を中心とした貝塚研究	o *A-LEDE	- 7%/- /-
3 - 総記名 日東帯党の新視点	3 附記名		
具塚研究の新視点 40-47 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 無	関係語文の001 (デジタルオブジェクト識別子)	微小貝類を中心とした貝塚研究	2019年
日報論文の801 (デジタルオブジェクト識別子)	関係語文の001 (デジタルオブジェクト識別子)		
具塚研究の新視点 40-47 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 無	関係語文の001 (デジタルオブジェクト識別子)	2. 雄士夕	6 単知と単独の百
指載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子)			
なし 無	本 - プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 章	貝塚研究の新視点	40-47
なし 無	本 - プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 章		
なし 無	本 - プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 章		
なし 無	本 - プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 章	担禁やさのDOL/ごごクリナブご_クし禁助フン	木柱の左無
オープンアクセス 国際共著 1 . 著名名 4 . 徳	1	·	
1	1 、業者名 2 ・	なし	無
1	1 、業者名 2 ・		
1	1 、業者名 2 ・	オープンアクセス	国際共革
1 著名名 黒住耐二	1 ・ 著者名		
### 1 ### 1 ### 2 ###		オープンアクセスではない、又はオープシアクセスが困難	-
### 1 ### 1 ### 2 ###			
### ### ### ### ####################		1 荃老夕	// 卷
2	2 論文標題 平良原遺跡から得られた貝類遺体 3 . 雑誌名 与那原則文化財調査報告書		_
平良原遺跡から得られた貝類遺体 2020年 1971-113 6 . 最初と最後の頁 107-113 6 . 最初と最後の頁 107-113	平良原遺跡から得られた貝類遺体 3 . 雑誌名 与那原可文化財調査報告書 6 . 最初と最後の頁 107-113 書読の有無 無 オープンアクセス 1 . 著名名 風學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2.) : 2 . 論文標題 國學院大學博物館研究報告 5 . 飛行年 2020年 17-33 お . 様誌名 国際共著 4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 17-33 日職執済文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) な .	<u> </u>	4
平良原遺跡から得られた貝類遺体 2020年 19那原町文化財調査報告書 6.最初と最後の頁 107-113	平良原遺跡から得られた貝類遺体 3 . 雑誌名 与那原可文化財調査報告書 6 . 最初と最後の頁 107-113 書読の有無 無 オープンアクセス 1 . 著名名 風學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2.) : 2 . 論文標題 國學院大學博物館研究報告 5 . 飛行年 2020年 17-33 お . 様誌名 国際共著 4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 17-33 日職執済文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) な .		
平良原遺跡から得られた貝類遺体 2020年 19那原町文化財調査報告書 6.最初と最後の頁 107-113	平良原遺跡から得られた貝類遺体 3 . 雑誌名 与那原可文化財調査報告書 6 . 最初と最後の頁 107-113 書読の有無 無 オープンアクセス 1 . 著名名 風學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2.) : 2 . 論文標題 國學院大學博物館研究報告 5 . 飛行年 2020年 17-33 お . 様誌名 国際共著 4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 17-33 日職執済文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) な .	2. 論文標題	5. 発行年
3 ・雑誌名	3 . 雑誌名 5那原町文化財調査報告書 6 . 最初と最後の頁 107-113		
5 那原町文化財調査報告書	5那原可文化財調査報告書	平尺原退跡かり侍りれに只無退 体	2020年
5 那原町文化財調査報告書	5那原可文化財調査報告書		
5 那原町文化財調査報告書	5那原可文化財調査報告書	3.雑誌名	6.最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	掲載論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 黒住耐二・阿郎常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6 . 是初と最後の頁 17-33 掲載論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス 1 . 著名名 権林啓介 2 . 論文標題 宮ノ鴻遺跡における古代後半から中世前半の様相 3 . 雑誌名 宮 / 鴻遺跡における古代後半から中世前半の様相 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 掲載論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) なし 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 最		
# オープンアクセス 国際共著 - 1 ・ 著者名 黒住耐 - ・ 阿部常樹 - 1 ・ 著者名 黒住耐 - ・ 阿部常樹 - 1 ・	# オープンアクセス 国際共著 1 ・ 著名名 黒住耐二・阿部常樹 2 ・ 論文標題 5 ・ 発行年 2020年 (2)・2 3 ・ 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6 ・ 最初と最後の頁 17・33 を訪ら (デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 ・ 著名名 模林啓介 2 ・ 論文標題 5 ・ 発行年 2020年 6 ・ 最初と最後の頁 17・33 を訪ら (デジタルオブジェクト識別子) なし 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第	ラがぶ町大心別神且牧石音	107-113
### オープンアクセス	# オープンアクセス 国際共著 1 ・ 著名名 黒住耐二・阿部常樹 2 ・ 論文標題 5 ・ 発行年 2020年 (2)・2 3 ・ 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6 ・ 最初と最後の頁 17・33 を訪ら (デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 ・ 著名名 模林啓介 2 ・ 論文標題 5 ・ 発行年 2020年 6 ・ 最初と最後の頁 17・33 を訪ら (デジタルオブジェクト識別子) なし 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 第		
### オープンアクセス	# オープンアクセス 国際共著 1 ・ 著名名 黒住耐二・阿部常樹 2 ・ 論文標題 5 ・ 発行年 2020年 (2)・2 3 ・ 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6 ・ 最初と最後の頁 17・33 を訪ら (デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 ・ 著名名 模林啓介 2 ・ 論文標題 5 ・ 発行年 2020年 6 ・ 最初と最後の頁 17・33 を訪ら (元・ 一) を 1 ・ 第一		
### オープンアクセス	# オープンアクセス 国際共著 1 ・ 著名名 黒住耐二・阿部常樹 2 ・ 論文標題 5 ・ 発行年 2020年 (2)・2 3 ・ 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6 ・ 最初と最後の頁 17・33 を訪ら (デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 ・ 著名名 模林啓介 2 ・ 論文標題 5 ・ 発行年 2020年 6 ・ 最初と最後の頁 17・33 を訪ら (元・ 一) を 1 ・ 第一	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査 語の 有無
オープンアクセス	1		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難	なし	#
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 2. 論文標題 2. 論文標題 2. 論文標題 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 17-33 17-33 17-33 18-34	オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 黒住耐二・阿部常樹 2. 論文標題 5. 発行年 2020年 (2)-2 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 17-33 17-33 17-33 17-33 18世紀 1. 著者名 4. 巻 7-ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1. 著者名 4. 巻 7-ブンアクセスではない。又はオーブンアクセスが困難 4. 巻 7-ブンアクセスが困難 5. 発行年 2020年 2. 論文標題 5. 発行年 2020年 2. 計算がにおける古代後半から中世前半の様相 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.	1 著者名 2	· · · · · · = · ·	
黒住耐二・阿部常樹 36 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6 . 最初と最後の頁 17-33 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 植林啓介 4 . 巻 - 2 . 論文標題 宮 / 浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘) の考古学的基礎研究 6 . 最初と最後の頁 29-36 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐一・阿部常樹 36 2. 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6. 最初と最後の頁 17-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 国際共著 - 1. 著者名 模林啓介 4. 巻 - 2. 論文標題 宮ノ鴻遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 6. 最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 無 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスとはない、又はオープンアクセスが四乗	-
黒住耐二・阿部常樹 36 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6 . 最初と最後の頁 17-33 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 植林啓介 4 . 巻 - 2 . 論文標題 宮 / 浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘) の考古学的基礎研究 6 . 最初と最後の頁 29-36 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐一・阿部常樹 36 2. 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6. 最初と最後の頁 17-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 国際共著 - 1. 著者名 模林啓介 4. 巻 - 2. 論文標題 宮ノ鴻遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 6. 最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 無 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
黒住耐二・阿部常樹 36 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6 . 最初と最後の頁 17-33 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 植林啓介 4 . 巻 - 2 . 論文標題 宮 / 浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘) の考古学的基礎研究 6 . 最初と最後の頁 29-36 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐一・阿部常樹 36 2. 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6. 最初と最後の頁 17-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 国際共著 - 1. 著者名 模林啓介 4. 巻 - 2. 論文標題 宮ノ鴻遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 6. 最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 無 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題	2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名		
國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 (2)-2 (2)-2 (2)-2 (3)-3 (4)-3	國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2		36
國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 (2)-2 (2)-2 (2)-2 (3)-3 (4)-3	國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2		36
(2)-2 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 国學院大學博物館研究報告 17-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 模林啓介 4. 巻 - 2. 論文標題宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5. 発行年空2020年 3. 雑誌名東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6. 最初と最後の頁29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	(2)-2 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 國學院大學博物館研究報告 17-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無無 オープンアクセス 国際共著 1.著者名模林啓介 4.巻 2.論文標題宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5.発行年2020年 3.雑誌名東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6.最初と最後の頁29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹	
(2)-2 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 国學院大學博物館研究報告 17-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 模林啓介 4. 巻 - 2. 論文標題宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6. 最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	(2)-2 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 國學院大學博物館研究報告 17-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無無 オープンアクセス 国際共著 1.著者名模林啓介 4.巻 2.論文標題宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5.発行年2020年 3.雑誌名東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6.最初と最後の頁29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹	
3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 6 . 最初と最後の頁 17-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 模林啓介 4 . 巻 - 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6 . 最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 17-33 園季院大學博物館研究報告 査読の有無 無 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 - オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 4 . 巻 (表替) 会社 (表述)	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題	5.発行年
國學院大學博物館研究報告 17-33 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 模林啓介 4.巻 2.論文標題宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5.発行年宮ノ池遺跡における古代後半から中世前半の様相 3.雑誌名東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6.最初と最後の頁29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 オープンアクセス 国際共著	國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 1. 著者名 複林啓介 2. 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 3. 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著 4. 巻 2020年 6. 最初と最後の頁 29-36	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体	5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体(2)-2	5 . 発行年 2020年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 模林啓介 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著 - 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体(2)-2	5 . 発行年 2020年
### また	無 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 国際共著 - 1 . 著者名	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体(2)-2 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
### また	無 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 国際共著 - 1 . 著者名	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体(2)-2 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
### また	無 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 国際共著 - 1 . 著者名	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体(2)-2 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
# 日本	無 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 国際共著 - 1 . 著者名	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1 . 著者名	オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 慎林啓介 4 . 巻 - 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6 . 最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体(2)-2 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 慎林啓介 4 . 巻 - 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6 . 最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 慎林啓介 4 . 巻 - 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6 . 最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体(2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33
1 . 著者名 慎林啓介 4 . 巻 - 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6 . 最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 植林啓介 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 3 . 雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 信載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 本し 本ープンアクセス 4 . 巻 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無
1 . 著者名 慎林啓介 4 . 巻 - 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6 . 最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 植林啓介 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 3 . 雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 信載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 本し 本ープンアクセス 4 . 巻 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無
模林啓介-2.論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相5.発行年 2020年3.雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究6.最初と最後の頁 29-36掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	模林啓介 - 2.論文標題 5.発行年 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無
模林啓介-2.論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相5.発行年 2020年3.雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究6.最初と最後の頁 29-36掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	模林啓介 - 2.論文標題 5.発行年 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無
模林啓介-2.論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相5.発行年 2020年3.雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究6.最初と最後の頁 29-36掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	模林啓介 - 2.論文標題 5.発行年 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 5.発行年 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体(2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著
宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 3.雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6.最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著
宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 3.雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 6.最初と最後の頁 29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 2020年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	 黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	3 . 雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 槙林啓介	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 -
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	3 . 雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 槙林啓介 2 . 論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 -
東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究29-36掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 -
東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究29-36掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 29-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 槙林啓介 2 . 論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 模林啓介 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
# また	なし 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
# また	なし 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
# また	なし 無 オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体(2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 模林啓介 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29-36
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス 国際共著	黒住耐二・阿部常樹 2 .論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体(2)-2 3 .雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 .著者名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29-36
		黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 模林啓介 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29-36
		黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 模林啓介 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 3 . 雑誌名 東寺領荘園(新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29-36
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが闲難 -	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29-36 査読の有無 無
		 黒住耐二・阿部常樹 2 . 論文標題 國學院大學博物館所蔵資料中の大洗吹上遺跡から得られた貝類遺体 茨城県大洗吹上遺跡出土の動物遺体 (2)-2 3 . 雑誌名 國學院大學博物館研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 模林啓介 2 . 論文標題 宮ノ浦遺跡における古代後半から中世前半の様相 3 . 雑誌名 東寺領荘園 (新見荘・弓削荘)の考古学的基礎研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス 	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 17-33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29-36 査読の有無 無

〔学会発表〕 計7件(うち招待講演 4件/うち国際学会 0件)
1.発表者名 黑住耐二
2.発表標題 沖縄の貝塚と貝類
3.学会等名 第531回沖縄県立博物館文化講座(招待講演)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 槙林啓介・辻康男・有馬啓介
2 . 発表標題 瀬戸内海島蝋部における浜堤と製塩遺跡
3 . 学会等名 日本考古学協会第86回総会・大会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 黒住耐二
2.発表標題 住み続ける貝、入ってくる貝、そして未来は?
3.学会等名 栃木県立博物館第127回企画展「貝ってすてき!」記念講演会(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 模林啓介
2.発表標題 上島町宮ノ浦製塩遺跡と 瀬戸内の海人文化
3.学会等名 2019年度テーマ展「瀬戸内の海人たち」 特別講演会(招待講演)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名	
植林啓介	
2. 発表標題	
四国地方 宮ノ浦遺跡	
0 WAMP	
3 . 学会等名 シンポジウム「日本列島における製塩技術史の解明 」	
4 . 発表年	
2019年	
1.発表者名	
黒住耐二	
2.発表標題 微小貝類を中心とした貝塚研究	
ᆙᄉᆥᄉᄌᇧᇩᆫᆟᆌᅹᆫᆼᇆᆽᇭᆒᄼᆙ	
3.学会等名	
沖縄考古学会2019年度総会・研究発表会	
2019年	
1 . 発表者名 黒住耐二	
2.発表標題	
貝から探る日本の原風景 貝類学者の視点から	
3 . 学会等名	
愛媛大学アジア古代産業考古学研究センター第27回アジア歴史講座(招待講演)	
4 . 発表年	
2019年	
〔図書〕 計2件	
1.著者名	4 . 発行年
槙林啓介ほか	2020年
	F 60 -0 5 ME
2 . 出版社 昭和堂	5.総ページ数 ²⁵⁷
"HTH 프	•
3 . 書名	
3.青台 大学的愛媛ガイド	

1 . 著者名 模林啓介ほか 	4 . 発行年 2020年
2.出版社 昭和堂	5 . 総ページ数 -
3.書名 大学的愛媛ガイド	

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6.研究組織

	14/1 プロボロ 神場		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	黒住 耐二	千葉県立中央博物館・その他部局等・研究員(移行)	
研究分担者	(Kurozumi Taiji)		
	(80250140)	(82503)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------